

特定健診Q & A

- Q** 特定健診とはどのような健診ですか？
- A** 平成20年度から高齢者の医療の確保に関する法律により各医療保険者に義務付けられたものであり、対象者は40～74歳の被保険者とされています。この健診は主として生活習慣病の原因とされる内臓脂肪症候群(メタボリック・シンドローム)に着目した健診です。
- Q** 病院で治療の一環としてさまざまな検査を受けているのに特定健診も受けなければならないのですか？
- A** 病院で治療の一環として受ける検査と、この特定健診は目的が違います。また病院での検査は、必ずしもこの特定健診の項目をすべて満たしている訳ではありません。
- Q** 忙しくて健診に行く暇がない。
- A** 三豊市・観音寺市で特定健診がいつでも受けられる医療機関がありますので受診しましょう。
(10月31日まで)

▶ 問い合わせ
健康課 73-3014



集団検診を受診していますか

集団検診の今後の日程は、9月が三野町、9月から10月が高瀬町、10月が豊中町です。

検診を受ける人は、健康診査の青い封筒と保険証、がん検診を受ける人は白い封筒を持参してください。検診の事前申し込みをしていない人で、検診を希望する対象年齢の人は、当日検診会場までお越しください。対象地区以外の人でも受診できます。

なお、医療機関で健康診査(青い封筒)を受ける人は10月31日(日)までに受診してください。

子宮がん・乳がん検診の無料クーポンをお持ちの人は、この機会にぜひ検診を受診しましょう。

詳しくは、健康課までお問い合わせください。



平成22年三豊市
健康診査のご案内



平成22年三豊市
がん検診のご案内

じんけん探訪⑨

～ 同和問題 解決への展望 ～

変わる若者の意識

三豊市の人権・同和問題に関する意識調査(2007年)の結果、若い世代の意識変化が浮き上がっています。

ほとんどが授業で、同和問題を知ったきっかけは20歳代の場合、「学校の授業」が75%、他方40歳以上は6割が家族など身内や友人から聞いて知ったと回答しています。後者は根拠のない噂や伝聞などで地区住民を否定的に表現して差別を伝え、心理的差別的温床となつていきます。

見て見ぬふりしない

家族や友人などが差別的な発言をした場合、正す(18%)よりそのままにする(21%)方が多く見られます。しかし20歳代だけは、考え方を正す(21%)が、そのままにしておく(15%)より多く、正義感や真面目さがうかがえます。

いじめ問題では、いじめる側だけでなくいじめを知っているが知らんぷりをする人にも制止すべき責任が問われます。飲酒運転もドライバーだけでなく、同乗者や店の責任が求められます。「差別がいけない」だけの教育・啓発は過去のもので、差別をなくすために行動のとれる人を育てる教育・啓発が求められます。

結婚は本人の意志で

地区関係者との結婚では、本人の意志が強ければしかたがない」が37%で最も多く、本人の意志を尊重」が35%です。しかし20歳代は、「本人の意

志を尊重」が62%と圧倒的です。戦前は家制度の下、結婚は「家」と「家」との縁結びでした。しかし現在の憲法では結婚は基本的な人権の一つとなり、当事者同士の愛情によって決まる時代です。

知識を実践力に

三豊市の若者の意識からは同和問題の将来に希望と展望を感じることが出来ます。ただし課題もあります。それは問題解決への消極性です。20歳代は「差別はなくなる(16%)と」「よく考えていない(20%)」がどの年代よりも多くみられます。

学校人権教育の目的は「人権課題の解決と人権が尊重される社会の実現をめざす実践力に富む人間の育成(香川県教育委員会)です。今後、人権・同和問題の知識が行動力となることがいっそう望まれます。

同和問題啓発強調月間

三豊市人権・同和問題講演会

日時 8月23日(月)

午後2時～3時30分

場所 詫間町「マリノウエ」

講師 中倉 茂樹 氏

(徳島県人権エンタメ「友輝」)

テーマ 「ぬくもりを感じて」

手話通訳・要約筆記あり

問い合わせ 人権課 73・3008

今月は、「三豊市少年を守る会」についてお知らせします。

目的

三豊市少年育成センター条例施行規則第7条の規定に基づき、少年の健全な育成を推進するために設置されています。



一般用 62-1115
少年相談 62-1116

市内の各学校のPTA会員または本会の趣旨への賛同者などで組織されています。現在、会員は42人です。

活動

三豊市少年育成センターとともに、有害な社会環境の浄化をはじめ、少年を守るためのあらゆる育成活動を行っています。1年間の主な活動は、次のとおりです。

未成年者喫煙防止キャンペーン(7月)

市内の駅などで、登校する高校生や一般市民を対象に、青少年の喫煙防止を訴えます。

万引き防止キャンペーン(12月)

県警キャリアバン隊と合同で大型店舗店頭で万引き防止を訴えます。

広報啓発活動

7・8月の青少年非行・被害防止県民運動、11月の全国青少年青少年問題への関心を高めま。

環境浄化活動

毎月1回、各町に設置されている白ポストに捨てられた有害図書やビデオ・DVDを回収します。



こうした貴重な活動を行っている「三豊市少年を守る会」に入会しませんか。皆さんの積極的な参加を待ちしています。

申し込み・問い合わせ
三豊市少年育成センター

62・1115

少年相談コーナー
心子救

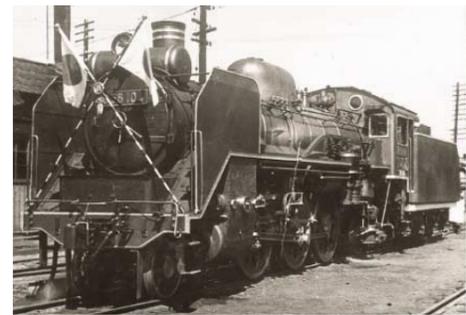
相談電話 62・1116

終戦記念日によせて

第二次大戦末期の昭和20年3月19日昼ごろ、三豊郡内において列車が連合軍艦載機の攻撃を受けました。比地大駅付近を走行していた、上りの貨物列車が連合軍艦載機の機銃掃射を受けたものです。機関士は太ももを負傷、列車もボイラーに銃撃を受けたため運行不能となりました。

列車は、ちょうど現在の比地小学校の運動場付近で停車し、機関士は、その場で小学校近くの医者治療を受けました。三豊近隣の人で平成14年に亡くなりましたが、家族にはこの日のできごとについてほとんど語らなかつたといひます。最後まで体内の銃弾は完全に取り除かれることはなかつたそうです。

この時期は四国一帯で列車が攻撃されたよう、3月27日の香川日日新聞でも報じられています。しかし日本にとって不利な情報は報道されておらず、列車が攻撃された場合の注意事項を記事にしていません。



C58形蒸気機関車

終戦から65年目の今年、平和の尊さをかみしめるためにも、戦地の基地・施設などだけでなく、戦争は私たちのまわり、三豊のいたる所で起きていたことも語り継いでいかなければなりません。

問い合わせ 生涯学習課

62・1113